

第19回 のりピー CIVIC(ハセガワ)の巻



年の初めにふさわしく、紅白おめでたいキットの登場です。これはのりPこと歌手(らしい)酒井法子のグッズのブランドである「のりPハウス」のレースマシンをキット化したものです。当然権利上の問題はきちんとクリアされた正式なキット(グッズ)であり、箱の横にはのりPの顔写真があしらわれています(肖像権を尊重してモザイクを掛けさせて頂きました)。

模型的にはシビックのバリエーションのひとつを再現したキットという事になりますが、シビックをキット化していたハセガワにはたらきかけてキット化を実現させた某模型誌(の一部のライター)の過熱ぶりが記憶に残っています。のりP本人がデザインした(らしい)パーソナルマーク等のデカールは新規作り起こしで、本体は既存の金型を上手く活用して正しく再現されました。尚、私はこの方の熱烈なファンという訳ではありませんが、バリエーションキットといえどとことんこだわるメーカー側の姿勢は評価したいです。ちなみにのりピーCIVICのキットには初版と再販があり、今回紹介しているのは初版の方です(再販分は内容に変更はありませんが、ハセガワのキャラクター物ブランドであるアクトハセガワ発売となっています)。



キットデータ	
メーカー	ハセガワ
スケール	1/24
当時価格	1800円(税抜)

このキットを購入したのは就職した頃だったでしょうか。郊外のショッピングセンターのおもちゃ売り場がゲーム専門になるということで半額セールをしており、そこで購入しました(店舗改装とか閉店セールとか均一ワゴンとか、何かそんなところばかり行っている印象を持たれるかもしれません)がはっきりいってその通りです)。ちょうど玩具やプラモデルを扱うお店が少しずつ減り始めた頃でした。今日、自分達だけでおもちゃや模型を買いに行ける子供はどれ位いるのでしょうか? 子供の模型離れが叫ばれていますが、こんなところにもその一端が有るような気がします。